

障害者に対する支援と障害者自立支援制度

問題 56 障害者スポーツに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 スペシャルオリンピックスは、オリンピックの直後に当該開催地で行われる。
- 2 パラリンピックは、イギリスの病院での脊髄損傷者が参加する競技会の開催がきっかけとなった。
- 3 デフリンピックは、知的障害者による国際スポーツ大会として誕生した。
- 4 ゆうあいピックは、全国障害者スポーツ大会から独立して誕生した。
- 5 フェスピック競技大会は、発達障害者を対象に展開された。

問題 57 障害者福祉制度の発展過程に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 児童福祉施設入所中に18歳以上となる肢体不自由者が増加する問題に対応するため、身体障害者福祉法が制定された。
- 2 学生や主婦で任意加入期間中に国民年金制度に加入していなかったために無年金になった障害者を対象に、障害基礎年金制度が創設された。
- 3 支援費制度の実施により、身体障害者、知的障害者、障害児のサービスについて、利用契約制度が導入された。
- 4 障害者の権利に関する条約を批准するため、同条約の医学モデルの考え方を踏まえて、障害者基本法等の障害者の定義が見直された。
- 5 「障害者総合支援法」の施行により、同法による障害者の範囲に発達障害者が新たに含まれた。

(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 58 「障害者総合支援法」で位置づけられている施設として、正しいものを1つ
選びなさい。

- 1 地域活動支援センター
- 2 身体障害者福祉センター
- 3 児童発達支援センター
- 4 地域障害者職業センター
- 5 市町村保健センター

問題 59 「障害者総合支援法」に基づく就労継続支援A型のサービスの利用に関する
次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 障害支援区分の認定が必要である。
- 2 暫定支給決定の仕組みがある。
- 3 サービスの利用者負担は不要である。
- 4 利用者は、通常の事業所に雇用されることが可能な障害者でなければならない。
- 5 利用期間について法令上の定めがある。

問題 60 事例を読んで、この段階における相談支援事業所の相談支援専門員(社会福祉士)の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

筋萎縮性側索硬化症(ALS)と診断されたEさん(30歳、女性)は、現在、病院に入院中であり退院を控えている。家族は夫と娘(8歳)で、近くに頼れる親戚はいない。Eさんの障害支援区分は現在のところ5であり、障害状況は四肢の運動麻痺があるが、徐々に全身に進行し、将来的には人工呼吸器装着の選択を迫られるとのことである。退院後は、在宅生活を強く希望している。

- 1 地域定着支援のサービスを利用し、退院支援を行う。
- 2 将来に備え、入院の継続を勧める。
- 3 夫に、仕事を辞め在宅介護に備えることを勧める。
- 4 喀痰吸引等が可能な事業所等の社会資源を把握する。
- 5 行動援護の利用を勧める。

問題 61 事例を読んで、Fサービス管理責任者(社会福祉士)の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Gさん(40歳、男性)は、重度の知的障害があり、20年間W施設に入所している。Gさんは、自分だけでは意思決定することが困難な状態であるため、成年後見人が選任されている。W施設のFサービス管理責任者は、入所を継続したいか地域移行したいかのGさんの意向が分からない状態であったが、個別支援計画の見直しを行う時期となっている。

- 1 入所継続を前提に、日中活動の充実を図る。
- 2 家族の意向に沿って方針を立てる。
- 3 成年後見人の意向に沿って方針を立てる。
- 4 グループホームへの入居を調整する。
- 5 本人、関係者の参加による意思決定支援会議を開催する。

問題 62 知的障害者更生相談所の業務などに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 緊急時に知的障害者の一時保護を行う。
- 2 知的障害者の医学的、心理学的及び職能的判定を行う。
- 3 成年後見人の選任を行う。
- 4 社会福祉士を配置しなければならない。
- 5 精神保健福祉士を配置しなければならない。